

令和8年度 第3回横浜市神奈川区地区センター指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和8年8月20日（木）13時00分～17時00分
開催場所	神奈川区役所本館2階中会議室
出席者	井手委員、小島委員、塚原委員、中込委員、松本委員（計5名）
欠席者	なし
開催形態	応募団体の面接審査は公開とするが、指定候補者の選定審議については非公開とする。 （傍聴者なし）
議 題	1 面接審査 2 指定候補者選定審議
議事及び 審議結果	1 面接審査 (1) 対象施設（3施設） ア 幸ヶ谷集会所 イ 松見集会所 ウ 羽沢スポーツ会館 (2) 応募団体 ア及びイはいずれも「特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ」の1団体 ウは「羽沢スポーツ会館運営委員会」と「羽沢スポーツ NEO 委員会」の2団体 2 指定候補者選定審議 委員の評点（平均点）は次のとおりとなった。いずれの施設についても、指定候補者となるための選定委員会の定める最低基準点（加減点項目を除く評価基準項目の合計の6割以上）を満たすことを確認した。 ア、イの施設について、第5期指定管理者の候補者として「特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ」を選定することに異議がなかったため、同団体を指定候補者として選定した。 (1) 幸ヶ谷集会所 評点 111.60 点（合計点数 558 点） (2) 松見集会所 評点 113.60 点（合計点数 568 点） ウの施設について、第5期指定管理者の候補者として「羽沢スポーツ NEO 委員会」を選定することに異議がなかったため、同団体を指定候補者として選定した。 (3) 羽沢スポーツ会館 評点 93.40 点（合計点数 467 点）
委員意見等	1 面接審査質疑応答 ア 幸ヶ谷集会所 （委員）マンション建設等により地域住民の構成が変化している中、町内会との関係性や利用者の状況について伺いたい。 （団体）新旧住民の入れ替わりはあるものの、放課後に利用する小学生が多く見られる。また、子育て支援事業を通じて若い世代との接点も増えており、地域の変化を実感している。 （委員）次期指定期間における課題をどのように考えているか。 （団体）人件費や物価上昇への対応を含め、限られた財源の中で持続可能な施設運営を行うことが課題であると認識している。 （委員）新たな事業計画について伺いたい。

(団体) 区民活動支援センターの出前事業など施設外へ活動を広げる取組を進めるとともに、環境施策や市の政策への協力など、地域交流につながる事業を展開していきたい。

(委員) 収支予算において清掃費や管理費を抑えている理由について伺いたい。

(団体) 人件費や委託費の増加を踏まえ、業務内容の見直しや機械の活用などにより効率化を図ることを想定している。

イ 松見集会所

(委員) 事業計画に記載されている「現代的課題」とは何を指しているのか。

(団体) 多文化共生や少子高齢化などの社会課題を想定しており、地域の実情に応じた事業展開を行いたいと考えている。

(委員) 修繕や施設の維持管理について、どのように取り組んでいるのか。

(団体) 市と相談・連携しながら必要な修繕を進めている。大規模修繕については優先順位等もあるため、状況を共有しながら対応している。

(委員) 緊急時の対応体制について伺いたい。

(団体) 地震による建物被害を重要なリスクとして認識している。また、一人勤務となる時間帯については、近隣施設との応援体制を構築している。

(委員) 利用者数が増加している要因をどのように分析しているか。

(団体) 従来の高齢者利用に加え、子どもや若年層の利用が増加している。ロコミ等による利用拡大も要因の一つと考えており、今後も利用促進につなげていきたい。

ウ 羽沢スポーツ会館

(1) 羽沢スポーツ会館運営委員会

(委員) 自主事業及び指定管理事業の内容について伺いたい。

(団体) 自主事業計画書に記載した内容の一部について指定管理事業として実施する想定であった。開港記念日における子ども向け事業やハロウィンバスケットボール大会、健康ウォークなど、地域住民が参加しやすい事業を実施していく。

(委員) 会計管理の考え方について伺いたい。

(団体) 修繕や除草作業の一部をスタッフが実施することで経費を抑えており、その結果として資産が増加している。今後はバスケットゴールの修繕等に活用することを想定している。

(委員) 職員研修や人材確保について伺いたい。

(団体) 個人情報保護や人権研修を年1回、救命救急講習を年2回実施している。職員については募集を行い、運営委員会で協議の上、採用を決定している。

(2) 羽沢スポーツ NEO 委員会

(委員) 応募の動機及び施設の課題認識について伺いたい。

(団体) 施設の利用促進や魅力向上の余地があると考え、団体を立ち上げた。より多

くの人が気軽に利用できる施設とすることを目指している。

(委員) 利用者ニーズへの対応についてどのように考えているか。

(団体) 現在利用の多い小中学生や高齢者に加え、現役世代や子育て世代の利用促進に取り組みたい。インターネット等を活用した情報発信や新たな事業の実施を検討している。

(委員) 運営体制について伺いたい。

(団体) 施設運営経験のあるメンバーを中心に役割分担を行う予定である。

2 指定候補者選定審議

(1) 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ

対象施設全般について、利用者数の増加や地域の特性を踏まえた施設運営が行われている点が評価された。また、地域に根差した運営を継続し、子どもから高齢者まで幅広い世代の居場所づくりに取り組んでいる姿勢が評価された。

一方で、一人勤務の時間帯における緊急対応や災害時の安全確保については課題として指摘があった。また、施設や設備の老朽化への対応についても懸念が示され、市との連携を含めた計画的な維持管理が求められるとの意見があった。

限られた予算の中で効率的な施設運営に努めていることは評価されたが、今後は若年層利用者の増加や地域ニーズの変化を踏まえながら、利用者目線に立った施設運営と地域とのさらなる連携強化が期待される。

(2) 羽沢スポーツ会館運営委員会

これまでの管理運営実績や地域との結び付きの強さ、地域住民主体による安定した運営体制について評価する意見が多く見られた。長年にわたり地域に根差した活動を継続しており、地域特性を踏まえた取組を行っている点が評価された。

一方で、提出書類やプレゼンテーションの内容については認識不足・準備不足との指摘があり、今後の施設運営に向けた具体的な提案や新たな事業展開の方向性が十分に示されていないとの意見があった。また、財務面についても、余剰金の活用方針や指定管理料に対する考え方について改善の余地があるとの指摘がなされた。

(3) 羽沢スポーツ NEO 委員会

施設利用の促進や新たな利用者層の開拓に向けた意欲的な提案が評価された。特に、若年層や現役世代の利用拡大、情報発信の強化、既存事業の見直しや新たな自主事業の実施など、施設の活性化に向けた積極的な姿勢が高く評価された。

一方で、指定管理業務の実績がないことから、施設管理や財務管理を含めた運営体制については不安を指摘する意見もあった。また、地域との関わりや関係団体との連携の具体性については、今後の取組の中で深めていくことが期待されるとの意見があった。しかしながら、現状を改善しようとする意欲や将来性を評価する声が多く、施設の新たな発展につながる可能性があるとの評価がなされた。

総合的な審議の結果、運営面に一定の課題は見られるものの、施設の活性化に向けた意欲や提案内容の将来性を評価し、指定候補者として選定することが適当であるとの結論に至った。